

平成 28 年度琉球大学法科大学院
A 日程 法学既修者コース法律試験 問題冊子 1

民法〔全 450 点中 150 点〕

平成 27 年 8 月 29 日（土曜日）
9 時 30 分～11 時 00 分（90 分）

注意事項

試験開始の合図があるまでに、次の注意をよく読んで、間違いのないように受験してください。

- 1 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 試験開始後、問題の部分に印刷不鮮明、汚損等があれば直ちに申し出てください。
- 3 この試験では、問題冊子 1 部、解答用紙 6 枚、下書用紙 2 枚を配布します。六法は、貸与します。
- 4 解答用紙の冒頭欄に印刷されている試験科目名の文字を丸で囲み、また空欄に数字を記入して、その解答用紙が「何法に関する答案の何枚目であるか」を示してください。また、答案に用いたすべての解答用紙の所定欄に、受験番号と氏名を記入してください。
- 5 解答用紙が足りない場合は、適宜配布するので手をあげてください。
- 6 黒色または青色であれば、筆記用具は問いません。ただし、鉛筆書きの場合は文字が薄くならないように十分注意してください。
- 7 試験開始後は、途中退席できません。用便を希望する際は手をあげてください。
- 8 試験終了後、解答用紙と貸与した六法を回収するので、指示があるまで席を立たないでください。配布した解答用紙は、書き損じや未使用のものも含めて、すべて回収します。問題冊子と下書用紙は持ち帰ってください。
- 9 その他は、すべて監督者の指示に従ってください。

問題（150点）

次の【事実】を読んで、後記の【設問1】および【設問2】に答えなさい。

【事実】

- 1 Aは、海に見える崖の上にある甲土地を所有し、その旨の登記もなされていた。
- 2 甲土地は、Aから宅地造成工事を請け負った業者Bが造成した土地であり、崖は、高さ約4メートルのコンクリート擁壁（以下「本件擁壁」という。）となっていた。
- 3 Aは、Cに対し、甲土地を建物所有目的で賃貸し、甲土地を引き渡した。
- 4 Cは、甲土地上に乙建物を建て、C名義の所有権保存登記も了し、乙建物に居住していた。
- 5 その後、他県に転勤することになったCは、Dに対し、乙建物を甲土地の賃借権付きで売却し（以下「本件売買契約」という。）、乙建物につきDへの所有権移転登記がなされた。また、本件売買契約の際、Cは事前に甲土地賃借権のDへの譲渡につきAの承諾を得ていた。
- 6 その後、Dは乙建物に居住していたが、平成26年9月に到来した台風に伴う大雨により、本件擁壁に傾斜、亀裂を生じ、崖上の甲土地の一部に沈下及び傾斜が生じ、乙建物に居住することが危険な状態となった。
- 7 そこで、Dは、Aに対し、甲土地の敷地部分の本件擁壁につき、安全上必要な改修・補強の措置を早急にとるよう請求した。
- 8 しかし、Aは、その当时无資力状態になっていたため、Dからの請求を無視し、本件擁壁の改修・補強につき、何らの措置もとらなかった。
- 9 また、調査の結果、本件擁壁がこのような状態となったのは、擁壁に通常設けられるべき水抜き穴が設けられていなかったなど宅地造成工事を請け負ったBの杜撰な施工が原因であったことが判明した。

【設問1】（60点）

【事実】1から9を前提として、以下の小問(1)から小問(3)に答えなさい。

小問(1) 【事実】5のCからDへの甲土地賃借権の譲渡につき、下線を付したAの承諾が必要なのはなぜか、根拠条文とその制度趣旨にも言及したうえで、事案にも即した説明をなさい。(20点)

小問(2) 【事実】7の下線を付したDのAに対する請求は、どのような法的根拠に基づくどのような請求か、根拠条文を指摘しつつ簡潔に説明しなさい。(15点)

小問(3) 【事実】8のとおり無資力状態のAが本件擁壁の改修・補強の措置をとらず、かつ、【事実】9のとおり本件擁壁の傾斜等の原因が造成業者Bの杜撰な施工にあることが判明したことなどから、Dは、Bに対し、本件擁壁の改修・補強をするよう請求したいと考えた。

まず、①かかるDの請求の論拠として考えられる法律構成を根拠条文も指摘しつつ事案に即して簡潔に述べなさい。次に、②その法律構成に基づく請求が認められるか否かを検討するにあたって法律上問題になることを指摘しなさい(なぜ問題になるのかという理由を付して法律上問題になることを指摘すれば足り、DのBに対する請求の可否や指摘した問題点について検討する必要はない。)(25点)

【事実】1から9に加え、以下の【事実】10および11の経緯があった。

10 Dは、もはや乙建物に居住することはできず、本件売買契約を締結した目的を達成できないと考え、瑕疵担保責任に基づいて本件売買契約を解除し、Cに対し売買代金の返還を求めたいと考えた。

11 なお、Dは、本件売買契約の際、本件擁壁の上記欠陥についてCから何の説明も受けておらず、水抜き穴の欠如を知らなかった。

〔設問2〕(90点)

【事実】1から11を前提として、以下の小問(1)から小問(3)に答えなさい。

- 小問(1)** DがCに対し瑕疵担保責任に基づいて本件売買契約を解除しようとする場合、本件擁壁の瑕疵につき、本件売買契約の客体のうちどこに瑕疵があると主張することになるかを事案に即して簡潔に指摘しなさい。(20点)
- 小問(2)** 【事実】11の下線を付した事実は、DのCに対する瑕疵担保責任の追及においてどのような法律上の意義を有するか説明しなさい。(30点)
- 小問(3)** Dは、本件において、瑕疵担保責任に基づいてCとの間の本件売買契約を解除することができるか、予想されるCからの反論にも言及しつつ論じなさい。(40点)

以上

平成 28 年度琉球大学法科大学院
A 日程 法学既修者コース法律試験 問題冊子 2

刑法〔全 450 点中 100 点〕

平成 27 年 8 月 29 日（土曜日）
11 時 20 分～12 時 20 分（60 分）

注意事項

試験開始の合図があるまでに、次の注意をよく読んで、間違いのないように受験してください。

- 1 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 試験開始後、問題の部分に印刷不鮮明、汚損等があれば直ちに申し出てください。
- 3 この試験では、問題冊子 1 部、解答用紙 4 枚、下書用紙 1 枚を配布します。六法は、貸与します。
- 4 解答用紙の冒頭欄に印刷されている試験科目名の文字を丸で囲み、また空欄に数字を記入して、その解答用紙が「何法に関する答案の何枚目であるか」を示してください。また、答案に用いたすべての解答用紙の所定欄に、受験番号と氏名を記入してください。
- 5 解答用紙が足りない場合は、適宜配布するので手をあげてください。
- 6 黒色または青色であれば、筆記用具は問いません。ただし、鉛筆書きの場合は文字が薄くならないように十分注意してください。
- 7 試験開始後は、途中退席できません。用便を希望する際は手をあげてください。
- 8 試験終了後、解答用紙と貸与した六法を回収するので、指示があるまで席を立たないでください。配布した解答用紙は、書き損じや未使用のものも含めて、すべて回収します。問題冊子と下書用紙は持ち帰ってください。
- 9 その他は、すべて監督者の指示に従ってください。

問題（100点）

次の【事例】につき、【設問】に答えなさい。

【事例】

大学生甲男（180センチ、90キロ）は、日頃から同じゼミに所属するA女（155センチ、50キロ）に好意を寄せていた。ある日、意を決して告白したが、ひどい言葉で振られてしまった。

そこで、甲男は、ゼミの帰りに、自分の車で家まで送るからとA女に声をかけ、車に乗せ、大学の近くにある林の中の廃屋に連れて行き、そこで、脅しても交際を承諾させようと計画した。

ゼミの帰りにA女に「家まで車で送らせて。」と言うと、先日は少し強く言い過ぎたと思っていたA女は、了承して、甲男の車に乗った。

700メートルほど走った時、車がA女の家に向かう時に通る繁華街ではなく、人気のない林の方に向かっていることに気が付いたA女は、いつもと道が違うなど思ったが、特には気にしなかった。しかし、甲男は、もしA女に騒がれたらどうしようと急に不安になり、とりあえず廃屋へ連れ込もうと考え、急ハンドルを切って側道に車を止め、驚いている隣席のA女のみぞおちにパンチを入れたところ、A女は気を失った。

林の中に車を進めるうちに、甲男は、このままでは振られるに決まっているなど思い、それならA女が気を失っているうちに、廃屋でA女を姦淫してしまおうと思うに至った。そこで、廃屋に向かい、その外で車を止め、A女を運びだそうとした。

車が止まった拍子にA女が目を覚ました。A女は自分が見知らぬところにいることに気づき、甲男に気づかれないように車から降りようとして、そっとドアを開けて、外に出たところで甲男に気づかれてしまった。甲男は、急いで姦淫してしまおうと思い、A女をつかまえると、腕をねじあげ、廃屋へ引きずっていった。甲男は廃屋で姦淫を試みたが、緊張からなしえなかった。なお、A女は腕をねじあげられた際に、右肩を脱臼していた。

【設問】

甲男の罪責について述べなさい。特別法上の犯罪には触れないでよい。

以 上

平成 28 年度琉球大学法科大学院
A 日程 法学既修者コース法律試験 問題冊子 3

憲法 [全 450 点中 100 点]

平成 27 年 8 月 29 日 (土曜日)
13 時 15 分 ~ 14 時 15 分 (60 分)

注意事項

試験開始の合図があるまでに、次の注意をよく読んで、間違いのないように受験してください。

- 1 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 試験開始後、問題の部分に印刷不鮮明、汚損等があれば直ちに申し出てください。
- 3 この試験では、問題冊子 1 部、解答用紙 4 枚、下書用紙 1 枚を配布します。六法は、貸与します。
- 4 解答用紙の冒頭欄に印刷されている試験科目名の文字を丸で囲み、また空欄に数字を記入して、その解答用紙が「何法に関する答案の何枚目であるか」を示してください。また、答案に用いたすべての解答用紙の所定欄に、受験番号と氏名を記入してください。
- 5 解答用紙が足りない場合は、適宜配布するので手をあげてください。
- 6 黒色または青色であれば、筆記用具は問いません。ただし、鉛筆書きの場合は文字が薄くならないように十分注意してください。
- 7 試験開始後は、途中退席できません。用便を希望する際は手をあげてください。
- 8 試験終了後、解答用紙と貸与した六法を回収するので、指示があるまで席を立たないでください。配布した解答用紙は、書き損じや未使用のものも含めて、すべて回収します。問題冊子と下書用紙は持ち帰ってください。
- 9 その他は、すべて監督者の指示に従ってください。

問題（100点）

次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

○県立N高校は県下でも有数の進学校で、特に理数系の教育には定評があり、教員に対する父母からの信頼も厚く、優秀な卒業生を輩出していた。

Xは高い倍率を乗り越え、N高校に合格した生徒であるが、また、同時に熱心なA教の信者でもあった。A教の教義は厳格で、万物は神が創造したということ強く確認すべき重要な原理として掲げていた。

N高校では、生物が必修になっており、Xは進化論を前提とした生物科目の授業の一部を、自己の宗教上の教義に深い関係があるので授業は欠席し、自習したい旨を教員Zに伝えた。Zは重要な授業なので欠席しないよう伝えたが、Xは図書室に行き、同科目関連の読書をしていた。Zの科目は、これまで父母からも生徒からも評判が良く、病気などでやむを得ず出席できなかった生徒を除き、欠席者が出たことはなかった。自尊心を傷つけられたZはこれを問題視し、校長Yにこのことを伝えた。

Yは優秀な人材が集まるN高校の校長として勤務して以来、実績と評判を落とさぬよう全力を尽くすことをモットーとしていた。教育効果の上でも授業を軽視することは許されないと考えたYはZに厳格に成績評価するよう伝えた。Zの意見も同じであり、欠席の回数（30回中5回）や進化論関係の試験問題（当該部分を白紙解答）等を含めて、厳格に評価し、単位を認定しなかった。そのためYはXに対し原級留置の処分を行った。さらに翌年も同様の結果となったため、2連続原級留置の際のN高校の規定に従ってYはXを退学処分とした。

Xは、難関大学の法学部に進学したいと考えており、単位の認定をするようお願いをしたが、校長はこれを認めなかった。ちなみに、Xは成績優秀で、生物を除く科目で学年1位であった。

【設問】

本事例における憲法上問題となる点を挙げ、それぞれについて論じなさい。

以上

平成 28 年度琉球大学法科大学院
A 日程 法学既修者コース法律試験 問題冊子 4

商法〔全 450 点中 50 点〕

平成 27 年 8 月 29 日（土曜日）
14 時 30 分～15 時 00 分（30 分）

注意事項

試験開始の合図があるまでに、次の注意をよく読んで、間違いのないように受験してください。

- 1 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 試験開始後、問題の部分に印刷不鮮明、汚損等があれば直ちに申し出てください。
- 3 この試験では、問題冊子 1 部、解答用紙 3 枚、下書用紙 1 枚を配布します。六法は、貸与します。
- 4 解答用紙の冒頭欄に印刷されている試験科目名の文字を丸で囲み、また空欄に数字を記入して、その解答用紙が「何法に関する答案の何枚目であるか」を示してください。また、答案に用いたすべての解答用紙の所定欄に、受験番号と氏名を記入してください。
- 5 解答用紙が足りない場合は、適宜配布するので手をあげてください。
- 6 黒色または青色であれば、筆記用具は問いません。ただし、鉛筆書きの場合は文字が薄くならないように十分注意してください。
- 7 試験開始後は、途中退席できません。用便を希望する際は手をあげてください。
- 8 試験終了後、解答用紙と貸与した六法を回収するので、指示があるまで席を立たないでください。配布した解答用紙は、書き損じや未使用のものも含めて、すべて回収します。問題冊子と下書用紙は持ち帰ってください。
- 9 その他は、すべて監督者の指示に従ってください。

問題（50点）

自動車の製造・販売を目的とするA株式会社は、自動車重量税の軽減を公約として掲げるB政党に対して政治資金の寄付行為（政治献金）をなした。この寄付行為は有効であるか。地域における文化振興のため博物館の建設に協力金を支出する場合と比較しながら論じなさい。

以 上

平成 28 年度琉球大学法科大学院
A 日程 法学既修者コース法律試験 問題冊子 5

民事訴訟法 [全 450 点中 50 点]

平成 27 年 8 月 29 日 (土曜日)
15 時 05 分 ~ 15 時 35 分 (30 分)

注意事項

試験開始の合図があるまでに、次の注意をよく読んで、間違いのないように受験してください。

- 1 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 試験開始後、問題の部分に印刷不鮮明、汚損等があれば直ちに申し出てください。
- 3 この試験では、問題冊子 1 部、解答用紙 3 枚、下書用紙 1 枚を配布します。六法は、貸与します。
- 4 解答用紙の冒頭欄に印刷されている試験科目名の文字を丸で囲み、また空欄に数字を記入して、その解答用紙が「何法に関する答案の何枚目であるか」を示してください。また、答案に用いたすべての解答用紙の所定欄に、受験番号と氏名を記入してください。
- 5 解答用紙が足りない場合は、適宜配布するので手をあげてください。
- 6 黒色または青色であれば、筆記用具は問いません。ただし、鉛筆書きの場合は文字が薄くならないように十分注意してください。
- 7 試験開始後は、途中退席できません。用便を希望する際は手をあげてください。
- 8 試験終了後、解答用紙と貸与した六法を回収するので、指示があるまで席を立たないでください。配布した解答用紙は、書き損じや未使用のものも含めて、すべて回収します。問題冊子と下書用紙は持ち帰ってください。
- 9 その他は、すべて監督者の指示に従ってください。

問題 (50 点)

Xは、Yを被告として金銭債務の不存在確認の訴えを提起したところ、Yは、Xを被告として同一債務の履行を求める反訴を提起した。この場合、判例（最判平成 16. 3. 25 民集 58-3-753）は、Yの反訴が不適法なのではなく、Xの本訴が不適法となると結論づけている。Yの反訴を不適法とするのではないから、いわゆる重複訴訟禁止（民訴法 142 条）に抵触するとしたわけではない。なぜ、Xの本訴が不適法とされるのかについて説明しなさい。

以 上